

身近な自然を守るための知識と技術を学ぼう！

2018

新・里山講座

里山は、身近な自然でありながら生物多様性豊かな場所です。環境教育や、市民の憩いの場としても注目を集めていますが、里山を守るために必要な人の手が入らず放置と開発が続き、活動メンバーの高齢化もあり、次世代につなぐ人材が求められています。

新・里山講座は、これらの課題に応えるため2017年1月に10年ぶりに、これまでの経緯や実績から里山管理作業だけではなく、生態系についても学んで頂ける内容で、能勢・池田・箕面・富田林をフィールドにして開講しました。引き続き、第2回新・里山講座を2018年1月より開講します。

大阪自然環境保全協会では、1986年第1回里山シンポジウムの開催以来、生態系を保全する目的で、市民による里山管理を指導のできるリーダーを養成する「里山管理指導者養成講座」などを全国に先駆けて開催してきました。その結果、多数の市民活動グループが誕生しました。また、行政からも依頼を受け、修了生と市民と行政が協力して活動しています。

新・里山講座受講生の感想

山歩きが趣味ですが、身近な里山についても知りたいと受講しました。
やはり楽しかったのはフィールドワーク！座学で仕入れた知識を使って、
現場で見て、考えて、体を動かして学ぶ楽しさを思い出しました。（60歳代女性）

「里山は荒廃している」と言われている現状や問題を知りたいと思い受講。
間伐、ハイキングなど、貴重な体験を通して、知ることが出来ました。
（50歳代男性）

実際に外に出て大阪の自然を見に行けたので、
座学だけではわからないことも勉強できました。また、毎木調査等の
実習も多く、普段できないことができて楽しかったです。（20歳代女性）

座学では里山の今昔、森のしくみ等、興味深いことを知った。
実践では雑木林、竹林での間伐作業の大切さを体験した。
色んな方との交流が出来て有意義な講座であった。（60歳代男性）

2018年1月7日スタート！9回連続講座 受講生募集中！

公益社団法人 大阪自然環境保全協会

第2回 新・里山講座 カリキュラム

(平日は火曜日、休日は主に日曜日)

No.	開催日	時間	場所	内 容
1	2018年 1月7日(日)	13時30分	大阪産業創造館	① 開講式／②保全協会が目指す里山とは 講師:常俊 容子(保全協会 元理事)
2	1月23日(火)	19時	大阪産業創造館	③ 森林のしくみ 講師:藤原 宜夫(大阪府立大学教授)
3	2月11日(日)	13時30分	エートス ステーション	④ 応急手当短期講習:講師:日本赤十字社 ※講座修了後、懇親会を実施
4	2月20日(火)	19時	大阪産業創造館	⑤ 人の暮らしと里山 講師:佐久間 大輔(大阪市立自然史博物館 学芸課長代理)
5	3月 4日(日)	9時30分 滝谷不動駅	奥の谷	⑥ 里山フィールド見学 下草刈り講義・実習、 間伐講義・実習 講師:田淵 武夫(富田林の自然を守る会 代表)
実習時に荒天等で延期した場合の予備日は3月18日(日)				
6	3月20日(火)	19時	大阪産業創造館	⑦ 植生・毎木調査の必要性和方法 講師:土生 陽子(こばみつ亭 代表)
7	3月24日(土) 25日(日)	9時30分 池田駅	五月山	⑧ 毎木調査実習 ⑨森づくり企画 ⑩森づくり実習 講師:中川 勝弘(五月山グリーンエコ 代表)
実習時に荒天等で延期した場合の予備日は4月1日(日)				
8	4月15日(日)	9時30分 妙見口駅	豊能町	⑪ 里山フィールド見学・竹切講義・実習 講師:長岡 一夫、高田 直俊、 井上 登喜夫(妙見里山倶楽部)
実習時に荒天等で延期した場合の予備日は4月21日(土)				
9	4月22日(日)	9時30分 野崎駅	大東市	◎ 里山フィールド見学 講師:山崎 充宣(野崎・飯盛の山と緑を保全する会代表) ⑫ 里山保全と生物多様性 講師:田淵 武夫(富田林の自然を守る会 代表) ⑬ 里山活動グループ紹介 (里山委員会スタッフ) ⑭ 修了式 ※講座修了後、懇親会を実施

※日程・講師・会場は都合により変更する場合があります。

お申込み・お問い合わせ

- 募集: 20名(先着順)
- 受講料: 15,000円(各回交通費は各自負担となります)
- 氏名・住所・所属・連絡先(電話・FAX・E-mail等)ご記入の上、
FAX・E-mail・ハガキいずれかにて下記宛にお申込みください。
追って受講案内をお送りします。

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13-202
公益社団法人 大阪自然環境保全協会／里山委員会
TEL 06-6242-8720/FAX 06-6881-8103
E-mail office@nature.or.jp